

すべての愛に根ざした行為



皆様に、私とメトロ・ワールド・チャイルドと共に、世界中の子どもたちに「イエス様があなたを愛している」というメッセージを届けるために立ち上がってくださっていることに、改めて心からの感謝をお伝えしたいと思います。皆さんは私の話をご存知でしょう。一人の男性が立ち止まり、傷つき、見捨てられた一人の少年をイエス様のところへ導いたのです。

そして今、神様はメトロの教会学校が毎週世界中で百万人以上の少年少女に影響を与えるための扉を奇跡的に開いてくださっています。これは前例のないことですが、これが最終目標ではありませんから、ここで止まるつもりはありません。

この数年間、神様はその年の原動力となるテーマとして、特別な御言葉を私の心に刻んでくださいました。それはパンデミックの後の諸国民の回復のための、ネヘミヤ記から始まりました。基盤を築き直し、壊れた生活を立て直すよう呼びかけるものでした。そして2023年は、イザヤ書54:2「あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ」という御言葉に従いました。これは、活動範囲をさらに広げ、成長する神の働きを維持し支えるための能力をより深め強くすることでした。このビ

ジョンは、2024年に向けてまさに、申命記11:24「あなたがたが足の裏で踏む所は、ことごとくあなたがたのものとなる。…」と宣言し、神の王国のために新しい領土を獲得するように促していたのです。

そして2025年の今、これらのテーマは、全世界がイエス・キリストの福音を聞くまで宣べ伝えるという、一つの使命に収束します。マタイによる福音書24:14「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます」に基づく今年の行動指針は、新たな情熱と揺るぎない決意をもって、世界的な使命に踏み出すよう私たちに求めています。今こそ、私たちがこれまで築き上げてきたもの、拡大し訴え続けてきた土台を強固にして、それを用いてあらゆる国、あらゆる部族、あらゆる言語のより多くの子どもたちに手を差し伸べる時です。

しかし、皆さんの継続的なご支援がなければ、私はこれを実行することはできません。皆さんの寛大なご支援は、次の食事がどこから来るのか、誰かが自分のことを気にかけてくれるのか、イエス様が本当に自分を愛してくれるのかわからない子どもたちの人生を刷新するほどの変化をもたらすのです。

私たちはキリストの体として団結し、主の目的を果たすために前進することができます。傷ついた子どもたちが世界中で待っているからです！

ご支援いただいているメトロの教会学校のプログラムは、学校が直面する多くの課題の解決策となっています。子どもたちの就学率が上がり、いじめや暴力が減少し、人格形成も進んでいることが証明され、多くの生徒の成績も向上しているのです。皆さんは、前例のない働きに参加しているのです！今は、子どもの人数が150万人になるように祈っています。あなたは私と共にいてくださいますか？

感謝の気持ちを込めて

創設者兼主任牧師 ビル・ウィルソン

常時スポンサー募集中！

お申込はこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



今月の引き落とし日！

3月27日(木)です。前日に残高をご確認ください！

今月号の目次

P2…NY インターンシップレポート

P3…フィリピン視察ツアーのご案内

P4～5…スタッフのお証しと各国の状況

P6…日本事務所から大切なお知らせ

メトロ・ニューヨーク インターンシップレポート

2024年度にメトロ・ニューヨークのインターンシップを体験されたローゼンクランツ安奈様より、体験レポートをお送りいただきましたので、皆様にお届けします。

私がメトロのインターンシッププログラムについて知ったのは、2019年にビル・ウィルソン師が日本に来られた時です。当時私はまだ14歳でしたが、彼のメッセージにとっても感動し、「この子だれの子？」という彼の著書を読み始め、両親もニューヨークの子供を支援するスポンサーを始めました。

昨年3月から私は1年間大学を休学してこのインターンシップに参加する決断をしました。最初は新しい場所に一人で行くことの心配もあり、簡単ではないと分かっていましたが、心の中には平安がありました。

2024年3月にニューヨークに到着すると、ミニストリーの人たちはインターン生全員をととても温かく迎えてくれました。ビル先生が力強い説教をしてくださり、その後、ハードコアトレーニングが始まりました。

初めは多くの子供たちの前で話すのは無理だと思いましたが、やらなければならない状況に追い込まれ、その結果、上達していき、自信もついて成長することができました。

私はブラウンズヴィルという治安が悪いことで有名な地域が割り当てられ、リーダーからは、「あなたは自分の担当エリアの子供達にとっての牧師です」と言われ、私にしか福音を届けられない子供達がいるという使命感も与えられました。



担当エリアでは毎週たくさんの子供達がやってきました。ある時、アマリという7歳の少年がやってきて、住所を書いてもらい初めて訪問に行きました。お



母さんは自分が無神論だと言っていたので緊張しながらドアを叩くとドアが開き、アマリが飛び跳ねて喜んでくれました。そこから毎週サイドウォーク(道端教会学校)に来るようになりました。訪問を通して家族もイエス様を信じ、毎回訪問に行った帰りにはお母



さんが、お父さんとアマリ、弟を呼び、輪になってひざまずいて私に祈りを求めるようになりました。

ある時のサイドウォークで出会った、一人だけ白人の女の子がいました。ゲームで当てて景品をあげるととても喜び、ある訪問の時に母さんがそれを覚えていて部屋の奥から出てきて感謝を述べてくれました。それから訪問に行くたびにお母さんが少しずつ心を開いてくれるようになりました。彼女は人身売買で6歳の時に売られ、それから麻薬づけの中でポルノ女優として過酷な人生を過ごしたそうです。数年前に脱走して誰も知らないこの町に来て、市営住宅に移り住んでいるとのことでした。彼女は文字を読むこともままならなかったため、ヨハネの福音書を一緒に読んで、救いに導きました。彼女には病気もあり、その他色々な問題があって時々私に連絡をくれました。彼女にとっては福音を伝える人は私一人しかいないと思うとても責任を感じましたが、神様に信頼して祈り続けるということ学びました。



また、神様はメトロで共に祈り、励まし合える友人たちも与えてくださいました。あっという間に春学期が終わり、秋学期にもう一学期スタッフとして残る決断をしました。秋学期は責任も増え、インターンが与えられ、リーダーシップの面で大きく成長することができました。

この経験を通して一番学んだことは、どのような状況にあっても神様に信頼することです。また、未知に対する恐れがなくなり、視野も広がり、人生が大きく変えられました。ビル先生のビジョン、メトロの働きに感謝します。ここで学んだことを糧に、神と人にとに仕え続けたいと思います。

メトロ・フィリピン・ビジョントリップのご案内

—現地視察ツアーの新しいかたち—

4月9日(水)～13日(日)開催！ 定員 25名 定員になり次第締め切られます

フィリピンでも、メトロに関わる子どもの数が増え、今後は学校内での活動への道が開かれることになっています。働きが大幅に拡大し、校内での活動にシフトしていく予定で、限られたスタッフで、通常の活動をしながら、新しいスタッフを訓練し、世界中からの見学者に対応することが困難になっています。

そのため、今年から年4回（3月、4月、9月、11月）に期間を決めてビジョントリップとして皆様をお迎えすることになりました。日本事務所の主催するツアーではなくなりますし、費用も今までより高くなりますが、現地のスタッフは最大限の準備をしてお迎えします。

ご自分で手配していただくことになりますので、ご希望の方はすぐにお申込みください。

お申込は、以下のアドレスまたは右記 QR からお願いいたします。

<https://qr.paps.jp/YgrRb> こちらは日本事務所のフォームですので日本語です。その後の現地とのやり取りは英語になると思います。



- * 現地メトロ事務所への支払いは、875ドル(事前支払)メトロ施設での宿泊費、食事代や交通費、現地で家族を買い物に連れて行った場合の購入費などもすべて込み。ご自身のお土産代は各自お支払いください。
- * 日本からの航空券が別途必要です。集合時間に間に合うように手配してください。
- * 宿泊場所は、ホテルではなく、メトロ・フィリピンの宿泊施設になり、食事もスタッフや他の参加者と一緒にします。
- * ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、最大限、現地のスタッフが調整いたします。
- * 現地での会議等は英語となりますのでご了承ください。現地スタッフのハンナさんは日本語を普通に話すことができます。

ご質問その他ございましたら、ご遠慮なく日本事務所にお問い合わせください。

ツアー日程（予定）

4月9日(水) 各自、マニラ・ニノイ アキノ国際空港に午後2時過ぎまでに到着する便をご手配ください。

4月9日(水)午後3時 マニラ・ニノイ アキノ国際空港迎え

4月10日(木)終日 家庭訪問、現地活動に同行、卒業生の話

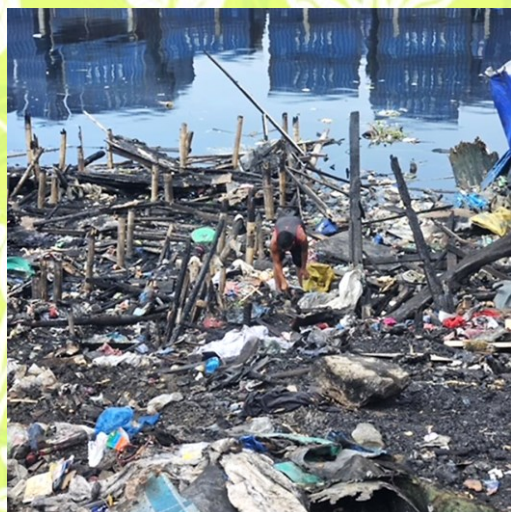
4月11日(金)終日 家庭訪問、現地活動に同行、卒業生の話

4月12日(土) 子どもと親たちを事務所に呼んで面会

4月13日(日)午前 現地教会での礼拝参加

4月13日(日)午後2時 マニラ・ニノイ アキノ国際空港着
午後2時までにスタッフが空港にお送りしますので、それ以降で間に合う便を各自ご手配ください。

空き時間には、観光や自由時間も入る予定です。



写真提供：大城冨貴様



希望がちょうどいい タイミングでやって くるとき

あなたの思いやりはフィリピンでは命綱です。

フィリピンでの働きは別世界です…墓地やマニラのスラム街の巨大なゴミ捨て場で、ゴミや排泄物の悪臭が、耐え難い湿気と暑さと混ざり合っています。

何世代にもわたり家族が生き残るためにできる限りのことをしながら、廃墟や間に合わせの掘っ立て小屋に住んでいます。日中は、子どもたちが食べられるものや使えそうなもの、リサイクルして売れそうなものを求めてゴミの山を掘り返しているのが見られます。夜になると、空腹を和らげるために接着剤を吸っている子どもたちもいます。

最近、私たちのチームが Won by One のスポンサーから支援を受けている子どもたちに食料品のプレゼントを届けていたとき、5歳のときから日曜学校に通っている、今は10代の少女、リーゼルに出会いました。

リーゼルの母親はなんとか仕事を見つけようとして遠方まで出稼ぎに行っており、残されたリーゼルは、双子の弟の世話をすることになりました。私たちはリーゼルと一緒に住み家に行きましたが、2人の赤ちゃんが弱弱しく横たわり、空腹のために大声で泣いていました。

リーゼルは双子を寝床に寝かせましたが、まだ泣き続けていました。家には何日も食べる物がなく、リーゼルはスポンサーの思いやりに感動し、感謝の言葉もないほどでした。彼女はすぐに受け取った米を調理し始め、嬉しさに震える手で弟たちのために手早く食事を用意しました。

その食料品の贈り物は、誰かが自分たちのことを気にかけてくれているという平安を彼女に与えました。それは希望の光であり、彼らに明日を生き延びる力を与えました！

昨年の秋、マニラのプティンバト島のスラム街を大火災が襲い、間に合わせの小屋が立ち並んでいた場所には灰だけが残りました。私たちがそこで支援している300人以上の子どもたちが、この大火災で家を失いました。

火災への復興支援として多くの方々が献金をしてくださり、とても助かりました。ありがとうございます！引き続き、子どもたちと家族が立ち直るためにお祈りください。今日のあなたの親切なご支援は、より多くの人々に食べ物を、そしてイエス様への希望を心に届けるために役立ちます！



メトロ紹介ページ



本部スタッフのお証し

昨年行われましたセミナーの中で、お証しをしてくださった方のお話をご紹介します。

ニューヨーク本部のスタッフ、イェンニーさんです。日本のセミナーにビル先生に同行して来られました。

スポンサーとしてのお証し

6年前まで私は、シンガポールに住んでいました。台湾出身で、HP(ヒューレット・パカード)に勤め、アジア地域の責任者のひとりとして働いていました。

6年前フィリピンを訪問する時には、その後のことについて全く予想していませんでした。それまでも、スラム街のひどい状況のことは知っていましたし、メトロの働きも知っていました。だから、ゴミ捨て場で暮らすということがどういうことかというイメージは持っていました

しかし、実体験すると全く違っていました。

その空気を吸い、汚水にまみれた中を歩き、現場に立った時、すさまじい現実が押し迫ってきました。

HPでは、IT戦略を担当していましたし、恵まれた人生でした。フィリピンのツアーに行くまで、自分が恵まれた素晴らしい人生を送っていると思っていました。

現地で、その現実の中で生きている子どもがいるのを見

て、自分に問いかけました。この子どもたちと自分の違いは何か。どんな違いがあるのか。ゴミ捨て場で生まれたか、台湾で生まれたかの違いだけで、そこに人としての違いは何もないのです。それなのに、私だけがこんな豊かな生活をしている。私は、30分もすればそこを離れることができます。しかし、彼らはそこが彼らの居場所であり、そこから逃げられないのです。

ビル先生から、あなたの残りの人生をどう生きたいかと問われました。当時、私は45歳でした。それから6か月間で3度フィリピンを訪問しました。そして3度目にフィリピンに行った時、全てを処分してニューヨークに移住して、メトロに人生を捧げようと決心しました。それからメトロで5年間働いています。間もなく51歳になります。

人生には、遅すぎることも若すぎることも何もありません。神様と向き合う時、遅いことも早すぎることもないのです。今がその時になるかもしれません。皆さんの心を開いて、ビル先生の言葉をあなたの心で受け止めてください。あなたにとって決定的瞬間になるかもしれません。

ビル師からのコメント

人生で何度も同じような人々と出会いました。本当に神様が働かれる瞬間があり、その人の人生が変わる瞬間があるのです。



もう、お隣に食べ物を 乞う必要はない

あなたの支援がアフリカの
人々を心身共に強め励まし
ています。

ズーコは恥ずかしい思いをしながら生きるのが嫌でした。しかし、空腹に耐えられなくなると、子どもたちは生きるための手段を取らざるを得なくなります。「空の器を持って、近所の人の家に食べ物をもらいに行きました。みんなより劣っているように感じて、食べ物をもらえないか頼むのがとても恥ずかしかった。」

ズーコにとって、この恥ずかしさは喜びに変わりました。今は学校で1日1回は食べることができる上、彼のスポンサーが頻繁に食料のプレゼントを贈ってくれるからです。しかし、アフリカでは、何千人もの子どもたちがまだスポンサーを待っています…

私たちは、これらの子どもたちに食事を与え、キリストの愛を表すことに尽力しています。私たちに子ども一人一人に食事を提供できるだけのインフラ(支援のシステム基盤)がありますが、それを実現するにはあなたのような友人からの献身的な支援が必要です。

メトロを通して子どものスポンサーになってくだされば、あなたはただ子どもに1日の食事を与える以上の支援をすることができます。あなたは彼らに、イエス様が彼らを愛し、彼らの人生に計画を持っていることを知らせることになるのです。それが究極の使命です。子どもたちに食べ物だけでなく、キリストを通して永遠の命を与えることができます。

ありがとうございます。

スポンサー募集中



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

注意!

偽サイトにご注意を!

ビル師の偽のSNSがたくさん発生しています。騙されて献金を送金されないように、くれぐれもご注意ください。

ビル先生の Facebook は以下の一つだけです。

<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>

ビル先生が、直接献金を依頼することはありません。メッセージやその他の方法で、個人的に連絡することや友達申請することもあります。友達リクエストを受け取った場合は、その偽アカウントを Facebook に報告し、ブロックしてください。

メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

現在開催中のキャンペーン!

現在行っているキャンペーンは、ございませんが、食料品その他のご支援は常時受け付けています。

・今回はフィリピンとアメリカのキャンプ案内です。

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。子どもの数は非常に多いので、早めにお申し込みいただければ助かります。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできます。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。

<https://metroworldchild.jp/gift/>



! スポンサー募集中!

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いいたします。

コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ!

今年は、例年になく寒い冬となりましたが、そろそろ春の訪れを感じる頃です。進学、就職、異動など新しい歩みを始められる方々もいらっしゃるでしょう。皆様の春に向けての歩みが、大いに祝福されますように祈ります。

前回に引き続き、フィリピン現地視察のご案内も入れておりますので、参加をご検討いただければ感謝です。

日本でも、物価高で生活が厳しくなっていますが、世界の状況はさらに厳しさを増しています。そのために、人々の心は自国の利益だけを求める方向へと急激に変化し、不安定さが拡大しています。そのしわ寄せは、常に弱い人々により強く表れてくるのです。メトロは、まさにそのような人々を相手に働きを続けています。

この不安定で行く先の見えない世界において、ただ神の愛とイエス様の救いだけが確実に変わりません。その平安と喜びを伝えています。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルⅡ7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン